

関係者各位

◇ 取材のお願い ◇

2020年9月

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、10月24日より名古屋・千種区の古川美術館では、古川美術館特別展「洋画家藤森兼明VS華麗なる中世彩色写本」を開催いたします。

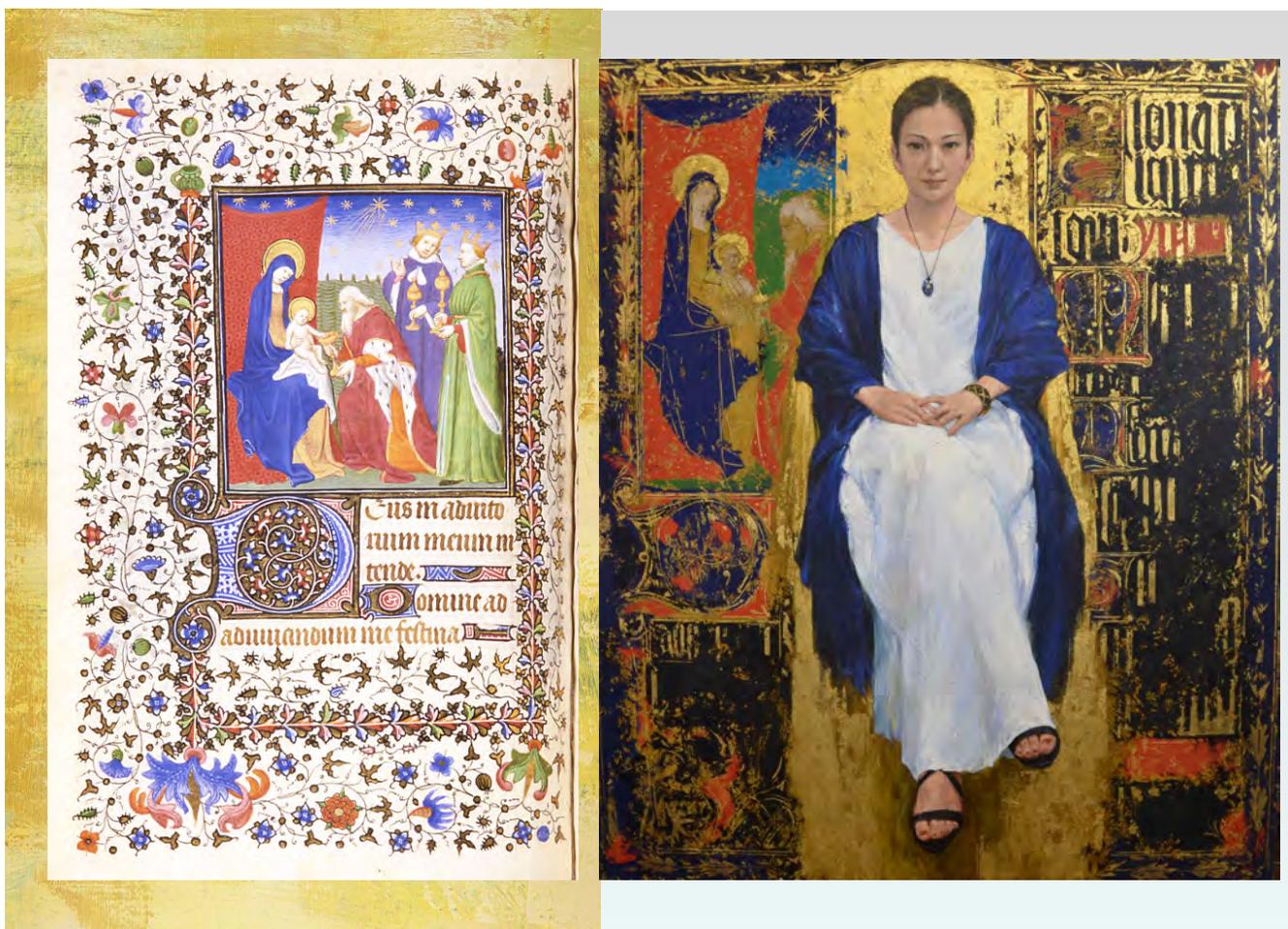
つきましては、貴社媒体にてご紹介いただきますようお願い申し上げます。

敬具

洋画家藤森兼明 VS 華麗なる中世彩色写本

特別公開『ブシコー派の画家の時禱書』
2020年10月24日<土>-12月20日<日>

藤森兼明作品 約15点、中世彩色写本・零葉・ファクシミリ版写本 約15点
彩色写本の制作道具、藤森兼明コレクション(アイコン、プレスコなど)を展示



休館日

月曜日

観覧時間

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

会場

古川美術館(〒464-0066 愛知県名古屋市千種区池下町2-50)

主催

公益財団法人 古川知足会

特別協賛

SMBC日興証券株式会社

後援

愛知県・名古屋市各教育委員会、中日新聞社、CBCテレビ、東海テレビ放送、
スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

観覧料

大人1,000円 高・大学生500円 中学生以下無料 (分館 爲三郎記念館との共通券)

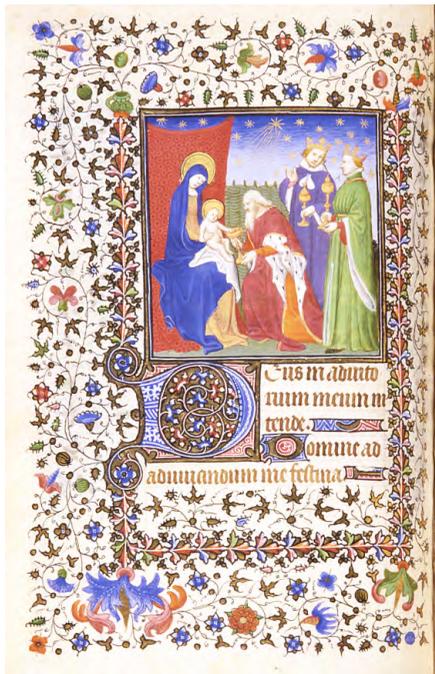
『ブシコー派の画家の時禱書』 (1412年頃) VS

★必見★

その美に触発された藤森兼明による2020年新作

藤森兼明「アドレーション オブ マギ」 (初公開) !

600年の時を越えた美の交流とその輝き



◀左 『ブシコー派の画家の時禱書』より「マギの礼拝」
1412年頃
古川美術館蔵



▶右: 藤森兼明
「アドレーション オブ マギ」
2020年

世界的に貴重な彩飾写本 『ブシコー派の画家の時禱書』

3年ぶりの特別公開!! 1412年頃 古川美術館蔵 ※ページ替え情報

藤森の新作はこの場面!

*10/24(土)-11/15(日)
「マギの礼拝」



*11/17(火)-12/3(木)
「羊飼いへのお告げ」



*12/4(金)-12/20(日)
「受胎告知」



みどころ1

藤森芸術 VS 彩色写本 — 二つの祈りの美 藤森作品6点と、モチーフとなった写本が観覧できます！

藤森が畏敬の念を抱く彩色写本は、自身の祈りともつながる、中世カトリック教徒の祈りが生み出した彩飾美の世界です。藤森作品と、その創造の源泉となった中世彩色写本（原本又はファクシミリ版）、零葉（一枚となり伝来した写本）を、あわせて展示します。ぜひ見比べてお楽しみください。

- ① 藤森兼明「ミドバル マニスクリプトへのオマージュ」2017年第103回光風会展
- ② 藤森兼明「ミドバル マニスクリプトへのオマージュ」2017年改組第四回日展
- ③ 藤森兼明「マリー・ド・メディシス マニスクリプトへのオマージュ」2018年 光風会展
- ④ 藤森兼明「黒のマニスクリプトへのオマージュ」2018年改組第五回日展 古川美術館蔵
- ⑤ 藤森兼明「アドレーション アナウンスエーション」2019年改組第六回日展
- ⑥ **新作** 藤森兼明「アドレーション オブ マギ」2020年



藤森兼明「ミドバル
マニスクリプト
へのオマージュ」2017年
第103回光風会展

左作品のモチーフ
となった零葉（15世紀）



みどころ2

レプリカだけど、すごい！ 世界に一冊しかない 貴重な写本を、精巧な複製（ファクシミリ版）で、堪能！

古川美術館のファクシミリ版写本コレクションを展覧。初期キリスト教芸術の傑作『ケルズの書』、最も豪華な装飾写本『ベリー侯のいとも豪華なる時禱書』、羊皮紙を黒く染めた『黒い祈禱書』など世界に一冊しかない貴重な写本を、精巧な技術で再現したレプリカ（ファクシミリ版）でお楽しみください。

『ケルズの書』 **ファクシミリ版** 古川美術館蔵（8世紀 アイルランド／トリニティ・カレッジ図書館）

『ベリー公のいとも豪華なる時禱書』 **ファクシミリ版** 古川美術館蔵

（15世紀 フランス／シャンティイ城・コンデ美術館付属図書館）

『黒い祈禱書』 **ファクシミリ版** 古川美術館蔵（1470年頃 オーストリア／ウィーン国立図書館）

『ゲーテンベルグ42行聖書』 **ファクシミリ版** 古川美術館蔵

（1452～55年 ドイツ／国立プロイセン文化図書館）

★注目ポイント1★ 中世彩色写本の魅力に迫る 写本制作道具や羊皮紙・牛皮紙など紹介

「羊皮紙工房」の協力により、貴重な写本制作道具の他、写本の材料となった羊皮紙・牛皮紙(仔牛)、山羊紙などの魅力をご紹介します。

羊皮紙木枠(展示用ミニ版)
半月ナイフ
脱毛乾皮(ひつじ皮)



羊皮紙



牛皮紙(仔牛)



山羊紙



写本顔料

★注目ポイント2★ 藤森兼明の取材写真・コレクション公開!

中世キリスト教の聖堂への巡礼、正教会のイコン(聖像)の深い輝きと精神性は、藤森作品の創造の源泉となっています。ピザンチン聖堂の厳かな輝き(取材写真)、イコンの深い金の輝き、時代を経たフレスコ画の味わいなど、お楽しみください。



藤森撮影 聖堂内部



イコン

天使のフレスコ画



洋画家藤森兼明 VS 華麗なる中世彩色写本

洋画家・藤森兼明(1935-)が魅了され、その近作を華やかに彩る彩色写本。本展は、中世彩色写本とそれをテーマとした藤森作品を一堂に会し、時代と国を越えた美の共演をお楽しみいただきます。最大の見所は、古川美術館の秘宝、彩色写本『ブシコー派の画家の時禱書』(1412年頃)の3年ぶりの特別公開と、その美に触発された藤森兼明の2020年新作「アドレージョン オブ マギ」(初公開)です。600年の時を越えた美の交流とその輝きをご堪能ください。

中世パリの工房で制作された『ブシコー派の画家の時禱書』は、手間暇をいとわず壮麗な挿絵や装飾が施され、完本として伝えられた世界的にも大変貴重な書物です。中世彩色写本の制作方法や、中世写本の材料となった牛皮紙・羊皮紙の魅力もあわせてご紹介します。

また、古川美術館所蔵のファクシミリ版写本コレクションも展覧します。初期キリスト教芸術の傑作『ケルズの書』、最も豪華な装飾写本『ベリー侯のいとも豪華なる時禱書』、羊皮紙を黒く染めた『黒い祈禱書』など、世界に一冊しかない貴重な写本を、精巧な技術によって再現したレプリカ(ファクシミリ版)でお楽しみください。

<藤森兼明 略歴>

- 1935年(昭和10) 富山県砺波市庄川町に生まれる
- 1958年(昭和33) 金沢美術工芸大学油絵科卒業
在学中、日展・光風会展入選
- 1959-63年(昭和34-38) 工芸会社に入社し、5年間アメリカに滞在
- 1964年(昭和39) 住所を砺波市庄川町から名古屋市に移す
- 1974年(昭和49) 日展再出品
- 1975年(昭和50) 光風会展再出品・奨励賞受賞
(1999年までに計8回受賞)
- 1980年(昭和55) 第12回日展特選受賞(同1984年)
- 1989年(平成元) 1988年度愛知県芸術文化選奨文化賞受賞
- 1991年(平成3) 光風会展つばき賞受賞(評議員賞)
- 1995年(平成7) 第27回日展審査員就任(計6回就任)
- 1996年(平成8) 日展会員就任
- 1999年(平成11) 光風会展田村一男記念賞受賞(評議員賞)
- 2001年(平成13) 第33回日展会員賞受賞
- 2002年(平成14) 紺綬褒章受章(計3回受賞)
- 2004年(平成16) 第36回日展内閣総理大臣賞 光風会理事就任 日展評議員就任
- 2008年(平成20) 日本藝術院賞 日本藝術院会員就任 日展理事就任
- 2009年(平成21) 光風会常務理事就任 日展常務理事就任 中日文化賞受賞
愛知県教育文化功労者
- 2013年(平成25) 古川美術館「藤森兼明一祈りの美 イコン・彩飾写本とともに」
- 2014年(平成26) 富山県立近代美術館「藤森兼明展 永遠の祈り」
日展副理事長就任(～2016)
- 2016年(平成28) 紺綬褒章受章2回(計5回受賞)
- 2017年(平成29) 古川美術館「藤森兼明一人を魅せる技」
- 2018年(平成30) 日展副理事長就任(～2020)
- 2020年(令和2) 日展顧問就任 光風会理事長就任
- 現在 名古屋市在住 日本藝術院会員 日展顧問 光風会理事長



◆催し情報

★ 藤森兼明作品は撮影OK!!!

※写本類、ファクシミリ版の撮影は出来ません。動画撮影、フラッシュ、三脚、自撮り棒の使用は不可です。また、他の方へのご迷惑となるような撮影方法をご遠慮ください。

★QRコードで楽しむ 藤森兼明 トーク

スマホor携帯・イヤフォンをご持参ください。

QRコードを用いて、展覧会の見どころ、新作について等、作者のメッセージを受け取れます。ぜひご利用ください。

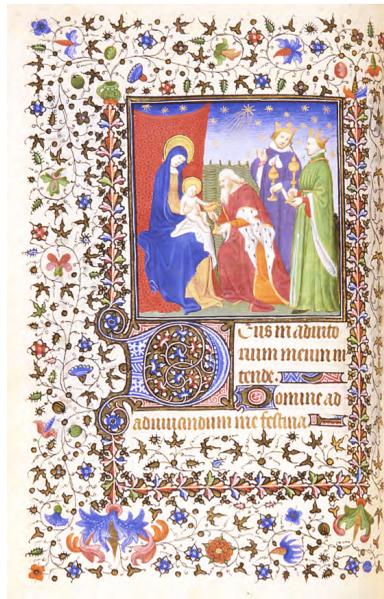
★展覧会オリジナル 藤森兼明「招福干支ぬりえ」

藤森兼明先生が展覧会のために特別に描いた来年の干支「丑」を、塗り絵として提供！チラシ掲載の藤森作品・写本のアート塗り絵もあります。自由に持ち帰り、完成したものを、SNS発信(#古川美術館)してお楽しみください。

◆広報画像 キャプション(下記画像)



藤森兼明
「アドレーション オブ マギ」
2020年



『ブンコー派の画家の時禱書』
より「マギの礼拝」1412年頃
古川美術館蔵

※本紙掲載の他の作品も広報画像としてご用意できます。
※作品をご紹介、ご掲載いただける場合は、郵送、メールにてデータ送付させていただきます。
お手数をおかけいたしますが、下記までご依頼いただきますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】 公益財団法人 古川知足会 古川美術館・分館 爲三郎記念館
電話052-763-1991 FAX052-763-1994(学芸課)
〒464-066 名古屋市千種区池下町2丁目50番地
アクセス 名古屋市営地下鉄 東山線「池下」駅より徒歩3分

古川美術館 担当学芸員 小柳津 綾子(a_suzuki@furukawa-museum.or.jp)
広報担当 学芸課 山内綾子(a_yamauchi@furukawa-museum.or.jp)